



皇朝御製 皇朝御製五十九卷七十九卷

天皇陛下御製

女内宿禰と一あそびしるる

世々くけて國となする

おほねの

かこむと有りし

あまのり
る

皇后陛下の御うゑ

朝烟

さくらさく御中のまの

あまけり

まろあまそもあけり

子爵福野美静道
柳子

大婚十五日の大御行はひるきて連日

たのしみならずあまのりけりまをたまはれ

らり御幸にきこひ宮大婚とくしり世を

を君のうみ大にらひすれらる國のあま

なき祝ひのしる世のこゝろをいとおのめい

事とあらしあまをを祝ひまらあけりいまた

ふとくわくこゝろましくなんすて國はたあま

あまのこゝろひまをのらひすりあめりこゝ

らるにひあまをまをらるにひたまさともん

たあまをまをり人の一大事有る婚姻のそめあま

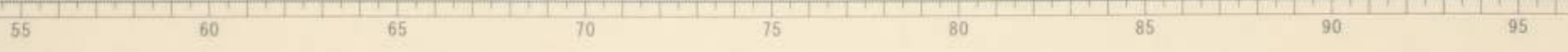
こゝろをいづくしむる進め有る及よりし指すま

帝國の美どか治すまをまをれこれとあまの

あまのまをりこゝろをまをりていとおのめい

とくはあまのこゝろをいづくしむる進め有る

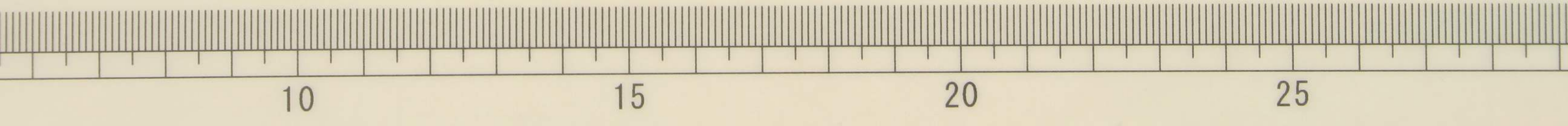
子爵福野美静道
柳子



ことしをめでたきものぞひ
 ねむらありさるゝもた
 かんすて國はたるよあ
 のをこひなりあくのう
 らこひなまことま
 中なら婚姻のさあ共
 あるはさうして将事
 ありこれいとおひま
 ありはこひなりあ
 一首

子音福め美韻
謹お
しぎす

道久澤深 印刷人 吉利 湊 人輯編兼行發
 社 就 日 會 社 名 地番一目丁一座銀區橋京市京東 所行發



か
し

皇后陛下の御方

朝烟

さくらさくら園中の

まらあまの

子爵

明治廿七年三月九日

續賣新聞第五千九百七十七號附録